

# 令和6年度 第2回越前町地域公共交通活性化協議会

## 議 事 録

開催日時：令和6年8月19日(月)

午後1時30分から午後3時10分まで

開催場所：越前町生涯学習センター2階会議室1

### ●出席者

- ・委員：16名（欠席者5名）
- ・事務局：5名

### ●議事概要

#### 協議事項（1）福井鉄道(株)自動車車庫の新設について

|     |                  |
|-----|------------------|
|     | 資料に基づき、運行事業者より説明 |
| 委 員 | 意見なし             |
| 採 決 | 承認               |

#### 協議事項（2）京福バスの減便・廃止について

|        |                                                                                                                           |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|        | 資料に基づき、県内路線バス見直しの概要を県より説明                                                                                                 |
|        | 引き続き、町内京福バスの減便廃止を運行事業者より説明                                                                                                |
|        | 引き続き、路線バスの減便廃止にかかる代替交通を事務局より説明                                                                                            |
| 議 長    | 国としてこの状況をどう受け止めているか。                                                                                                      |
| 福井運輸支局 | 運転士不足は致し方なく、それを県が調整していただき、今回の減便廃止に繋がったところ。あとは町の方で町民の交通をカバーできるような施策を考えていただきたい。                                             |
| 議 長    | 今後、県の方でどのような支援を予定しているか。                                                                                                   |
| 県      | 減便廃止にかかる市町の代替交通の支援、また、人材確保に関しては免許取得の支援など、市町と一緒に協議しているところ。                                                                 |
| 委 員    | 代替交通の中で、鯖浦線での福井への移動は可能ではあるが、清水織田線での高校への通学に関して、これが町として代替交通との考えでいいか。<br>また、数値的な質問になるが、資料にある清水織田線の利用者数と輸送量の数値が一致しないと感じるがどうか。 |
| 事務局    | 鯖浦線を利用することで確かに時間を要することは承知しているが、このような交通手段があるということで、代替交通になると判断している。                                                         |
| 運行事業者  | 利用人数については、6月の福井市内の減便にかかる調査時の数値になるが、                                                                                       |

|                 |                                                                                                                                                                                         |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                 | 15.4 人/便の大半の人数が福井市内の利用者によるもの。輸送量についてはまた確認し、事務局に報告する。                                                                                                                                    |
| 委 員             | 今回の減便廃止の全体像は分かったが、これは 5 年程度先を見越しての減便廃止なのか、それともまた 1 年後に見直しということになるのか。                                                                                                                    |
| 運行事業者<br>(京福バス) | 3 月末で廃止予定の路線もあるが、今後は町内運行事業者等をお願いしていきたい。今後予定している町の公共交通計画の見直しの中でも整理されていくのではないかと。直近でまた新たに減便廃止をするとの予定はない。                                                                                   |
| 運行事業者<br>(福井鉄道) | 運転士不足と 2024 年問題の対応により、9 月末で福浦線を廃止するが、来年の 4 月に向けて減便廃止を検討しているところもある。<br>京福バスは一気に運転士不足となったが、当社はじりじりと運転士不足になっており、今回の見直しでいったん落ち着くが、今後どうなるか分からないというのが正直なところ。説明会など採用も積極的に行っており、何とか運行を継続していきたい。 |
| 議 長             | 地域の中で運転士が確保できれば運行の継続に繋がるかと思うので、みなさんで運転士確保の対応策を。                                                                                                                                         |
| 委 員             | 路線バスの代替交通として町内のコミバスやデマンドタクシーに移行していくことになるのかと思うが、運転士不足の中でそこでの人材確保は大丈夫か。それまでの間の何か方策はあるか？                                                                                                   |
| 事務局             | 町外に出る広域移動について、県内路線バスの事業者は京福と福鉄の 2 社のみであるが、他に貸切事業者が 20 数社あり、町内コミュニティバスの運行もお願いしているところ。将来的には貸切事業者に広域運行をお願いすることも想定している。他には、隣接する自治体間でもコミュニティバスの広域運行などを検討していきたい。                              |
| 委 員             | 意見として、京福バス路線を利用して通学する生徒の声を大切にしてほしい。織田から福井市内で移動できるような広域運行の検討をお願いしたい。補助金等も活用して住民に思いやりのある公共交通になってほしい。                                                                                      |
| 委 員             | 現在その路線を利用して通学している生徒に関しては通学の配慮をお願いしたい。これから高校に通われる生徒は、通える高校を選択していただけるよう、そのための周知はしっかりしてほしい。運転士不足により、国の補助があっても運行できない状態。今後も減便廃止となる可能性はあるので、そのような時代であるということを認識してほしい。                          |
| 採 決             | 承認                                                                                                                                                                                      |
| 議 長             | 今回は緊急対策的に県主導で減便廃止を進められたが、そうすると、町の公共交通活性化協議会の意味がなくなるので、今後はこのようなことがないように、もう少し事前に協議会に諮っていただけるようお願いしたい。                                                                                     |

#### 報告事項（１）路線バス「鯖浦線（かれい崎・織田）の新ダイヤについて

|    |                  |
|----|------------------|
|    | 資料に基づき、運行事業者より説明 |
| 委員 | 意見なし             |

## 報告事項（２）地域公共交通ニーズ調査について

|        |                                                                                                                  |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|        | 資料に基づき、事務局より説明                                                                                                   |
| 委 員    | 前回協議会から京福バスが減便廃止になるなど、公共交通の状況が変わっている。選択肢に京福バスが残っているが、質問の設計を変えなくても良いか。                                            |
| 事務局    | 3月末までは1路線が残る中で、3000人の調査数がどれだけ京福バス利用者に該当するか分からないが、少しでも声が拾えれば次の計画策定の参考になればと思っているが、再度、委託業者と検討する。                    |
| 議 長    | 前回協議会でライドシェア実施予定の報告もあったが、そのことは質問には反映しなくてもよいか。                                                                    |
| 事務局    | アンケート調査は9月上旬に発送予定。ライドシェアの実施は11月を予定している。                                                                          |
| 委 員    | アンケート調査票の配布数は地区ごとで違うか。人口割？                                                                                       |
| 事務局    | そのとおり                                                                                                            |
| 委 員    | 可能であれば、締め切り前に回答のお願いを広く周知（啓発）してはどうか。また、福浦線廃止に関して、鯖浦線の高校生の通学は良く考えられているが、やはり直接日赤に行けなくなるのは不便。できれば役場から何らかの交通を検討してほしい。 |
| 議 長    | どこから移動したいかなどの要望も今回のアンケートに反映できれば。また、今回のアンケートに電車とバスのことが書かれているが、それぞれ環境が違うので、分けた方がいいのではないと思うが、皆さんの意見は。               |
| 委 員    | アンケート結果は計画見直しの大きな判断材料にされると思うが、広域移動を考えたときに、電車への接続は重要であるが、越前町のベースはやはりバスであると思う。                                     |
| 委 員    | ライドシェアの実証が7月から始まると聞いていたが、越前町での状況は？また、先ほど話に出ていた「ほやほや号」を町民は把握しているのか。                                               |
| 事務局    | 越前町では朝日自動車の実施主体となって11月から運行予定。<br>予約制の乗合タクシー「ほやほや号」が運行されているというのはあまり周知が行き届いていないと感じている。今後、京福バスとともに周知を図っていく。         |
| 議 長    | これだけ路線バスが廃止になると、代替交通がチョイソコだけではなく、移動手段の選択肢としてタクシーの拡大なども考えられるが、タクシー事業者からの意見は。                                      |
| タクシー協会 | タクシー業界も乗務員不足に高齢化、2024年問題があり、バス業界と状況は同じかそれよりも悪い。よって、タクシーを使つての拡充などは正直考えられない。                                       |
| 事務局    | 調査内容は、今回いただいた意見も含めて再度検討する。修正後は皆さんに再度共有させていただく。                                                                   |

その他

|     |                                                                                                    |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委 員 | 昔、越前地区から福井の高校に直接向かう直行バスがあった。<br>バスもタクシーもだめなら、ジャンボタクシーで直接運行することは考えられないか。                            |
| 委 員 | 西田中からでいいので、日赤と福井駅と田原町へジャンボタクシーなどで直接行きたいというのが越前地区住民の希望である。                                          |
| 委 員 | これからはバスでは行きにくいという時代になるが、その中で利用者も（通える範囲での学校・病院など）選択肢を持つべき。<br>大前提として運転手不足がある。町に要望するならまずは運転手確保ではないか。 |
| 議 長 | これまでの意見を踏まえて、町として何ができるか、何を要望していくかということを整理してほしい。                                                    |